東京医科大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。 本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名	本邦小児慢性腹膜透析療法の実態把握のための調査研究
当院の研究責任者（所属・職位）	柏木保代（東京医科大学病院 小児科思春期科・准教授）
研究機関 および各施設の研究責任者	市立札幌病院：田邉 起　国立病院機構 北海道医療センター：荒木 義則 北海道大学病院：岡本 孝之 弘前大学医学部附属病院：津川 浩二 岩手医科大学附属病院：石川 健　東北大学病院：内田 奈生 山形大学医学部附属病院：荻野 大助　筑波大学附属病院：宮園 弥生 自治医科大学附属病院（とちぎ子ども医療センター）：金井 孝裕 群馬大学医学部附属病院：小林 靖子 埼玉県立小児医療センター： 藤永 周一郎 千葉県こども病院：久野 正貴 国立成育医療研究センター：亀井 宏一　東京女子医科大学：三浦 健一郎 東京都立小児総合医療センター：濱田 陸 東邦大学医療センター大森病院：濱崎 祐子 神奈川県立こども医療センター：松村 壮史 東海大学医学部付属病院：新村 文男 北里大学病院：石倉 健司 新潟大学医歯学総合病院：山田 剛史　金沢医科大学病院：横山 仁 金沢大学附属病院： 横山 忠史 国立病院機構 金沢医療センター：太田 和秀 福井県立病院：津田 英夫 福井赤十字病院：玉村 宗一 信州大学医学部附属病院：村瀬 翼 長野赤十字病院：天野 芳郎* 聖隷福祉事業団 総合病院聖隷浜松病院：山本 雅紀　静岡県立こども病院：北山 浩嗣 あいち小児保健医療総合センター：藤田 直也 地域医療機能推進機構 中京病院：多代 篤史 藤田医科大学病院：池住 洋平 日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第二病院：後藤 芳充 滋賀医科大学医学部附属病院：坂井 智行 京都市立病院：黒田 啓史 国立病院機構 舞鶴医療センター：小松 博史 関西医科大学附属病院：金子 一成 大阪医科薬科大学附属病院：芦田 明 大阪市立総合医療センター：藤丸 季可：大阪府立病院機構 大阪母子医療センター：山村 なつみ 神戸大学医学部附属病院：野津 寛大 兵庫医科大学病院：矢谷 和也 兵庫県立こども病院：田中 亮二郎 奈良県立医科大学附属病院：石川 智朗 和歌山県立医科大学附属病院：島 友子 鳥取大学医学部附属病院：横山 浩己　島根大学医学部附属病院：堀江 昭好 国立病院機構 岡山医療センター：清水 順也 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院：綾 邦彦 県立広島病院：郷田 聡 山口大学医学部附属病院：長谷川 俊史 徳島大学病院：永井 隆 香川大学医学部附属病院：祖父江 理 高松赤十字病院：清水 真樹　高知県・高知市病院企業団立高知医療センター：宮澤 真理 高知大学医学部附属病院：石原 正行 久留米大学病院：田中 征治 九州大学病院：

	西山 慶 福岡市立病院機構 福岡市立こども病院：郭 義胤 長崎大学病院：桐野 泰造 熊本大学病院：永田 裕子　宮崎大学医学部附属病院：此元 隆雄 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター：喜瀬 智郎 国立病院機構 千葉東病院：金本 勝義
本研究の概要・背景・目的	現在の小児腹膜透析療法の実態を明らかにする。諸外国に比べると本邦は腎移植が少ないため腹膜透析の治療期間が長くなりやすい。本邦において患者・医師に情報を提供し、よりよい治療法の確立を行うことを目的とする。全国で腹膜透析を受けている小児患者の人数や原疾患・併存症、腹膜透析療法や併用療法の詳細、合併症など、小児慢性腹膜透析療法の実態を解明する。
調査データ該当期間	研究代表者所属施設（東京都立小児総合医療センター）の倫理審査委員会承認日 2025 年 5 月 12 日より 2032 年 3 月 31 日まで
対象となる患者さん	各調査実施施設において、以下の基準をすべて満たす症例 １）1981 年以降に慢性腹膜透析療法を受けている患者 急性腎不全（AKI）患者を除外するため、1 か月以上の腹膜透析を受けている患者を対象とする 2）透析導入時が 16 歳未満 3）毎年 12 月 31 日時点で 20 歳未満の患者
研究の方法 （使用する試料等）	以下の項目をカルテから収集する ＊登録時調査項目・・・１）患者背景 ① 生年月性別 ② 基礎疾患（腎臓および症候群など）2） 併存症　3） 腹膜透析療法開始日 4） 腹膜透析療法以外の血液浄化療法治療歴（移植を含む） ＊経年的な調査項目・・・経時的変化と年末時点でのデータ登録 5） 腹膜透析の治療方法とその変更・理由、終了 6）腹膜透析カテーテルの種類と使用期間、閉塞 7） 透析液種類、透析システム 8）腹膜透析関連感染症、合併症 9）身長・体重の変化、成長ホルモン療法の有無
試料・情報の他の研究機関への提供および提供方法	各施設で仮名加工を行い、あらかじめ利用者登録をした施設の研究分担者・協力者が、各症例の調査項目を登録システムに入力する。 提供元機関の名称及び機関長の氏名 東京医科大学病院・院長 氏名：山本謙吾
利用又は提供を開始する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

本研究の資金源（利益相反）	本研究は地方独立行政法人東京都立病院機構の研究費、および日本小児 PD・HD 研究会の研究費で実施する。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：東京医科大学病院 小児科思春期科・准教授 担 当 者：柏木保代（カシワギヤスヨ） 電 話：03-3342-6111(代表) FAX：03-3344-0643 もしくは 研究代表者 幡谷浩史（ハタヤヒロシ） 東京都立小児総合医療センター 総合診療科 〒183-8561 東京都府中市武蔵台 2-8-29 電話：042-300-5111(代表) FAX：042-312-8159
備考	